日本航空 OB 乗員 有志の会ニュース

2012. 09 11

No.12-058

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るい JAL

9 月 19 日に JAL の再上場が予定されていますが、それに関連する話題をいくつか紹介します（その 2）

２月に発表した新中期経営計画では「国際線の中長距離線に集中投資して経営の基盤強化を図る」として、１２～１６年度の５年間で、グループ全体で４７８０億円の航空機投資を実施▽「戦略的機材」と位置づける高効率のボーイング７８７の発注を１０機増やし４５機に拡大などを掲げていますが、整理解雇以来、JAL では人材の流出が止まりません。これまで整理解雇以降すでに９０名の現役パイロット（８月だけでも１０名のパイロット）が自主退職しています

再上場を機に展望が持てるビジョン

人員計画・訓練計画は出せるのか

「2012 年度から機長養成の再開」については明言したものの、「ライセンス取得訓練生の副操縦士への訓練（FOUG）中断」「ライセンス未取得訓練生の訓練中止」の問題が残っています

乗員速報 58-186 団交報告(2012.4.6) より

【ライセンス未取得訓練生の訓練中止撤回について】

【進運航本部長】・・・事業用操縦士技能証明書以上の資格を取得していない訓練生について今後訓練に投入できるかの本格的な議論を開始し、本年度中に議論の結果を貴組合に示すことを確認した。本件についてはこれまでの団体交渉において私の責任をもってできるだけ早い時期に経営での議論の俎上に載せると伝えてきた。そして今般、会社として議論の結果を出す時期を定め本格的に経営での検討を行うことと決定した

乗員速報 58-214　夏闘団交報告（2012.5.28）より

【訓練中止撤回・乗員計画】

《組合》ノンライセンシーの訓練中止撤回の判断までに１年もかかることに対して、訓練生は疑問を持っている。なぜ１年もかかるのか？

【進本部長】 FOUG再開からトータルのパッケージとして、ノンライセンシーをどうするかも議論の中でやる。中期計画を変更するのであれば、今年度末までに議論して内容を変化させるところは経営の中で決まっている。

《組合》判断のための議論に半年とか１年もかけるのはあまりにも長すぎる。

【進本部長】中止撤回を中期の変更に入れるためには、FOUGをいつ再開するかから始まって、全体を確定した後に議論するので、１回や２回では済まない。

《組合》ノンライセンシーの訓練生にとって、１年間何もなく待たされるのは苦しみでしかない。情報の開示は訓練生の苦しみを和らげるのに有効になる。

【進本部長】途中で、ある結論が出るとすれば、その時は早急に開示する。

《組合》修正中期を出す前でもありうるのか？

【進本部長】修正中期を確定するところで、同時にとなるかもしれないが、結論が先に出るのであれば、その時点で知らせる。

【OP】オフィシャルに言えるのが、中期計画を修正するタイミングになる。ただ、何らかの形で多少早めに結論を出す環境にあれば、そういう可能性もある

《組合》流出のところで指摘したが、FO（副操縦士）は中期の末に「マイナスマンニング」になる。中期中にFOUGをやらなければいけないフェーズに入ってくる。

乗員速報 58-242 第５回山場前夏闘団交報告（2012.6.19）より

【訓練中止撤回・機長養成】

《組合》我々が何故そこを強く主張するのかは、社員の流出によってJALが厳しい状況に陥ることを避けたいからだ。現在流出しているFOは前回も伝えたが、労働条件が下が

るが養成の部分のライフプランを求めて外に出ている。しかし、他社が乗員獲得を志向し、労働条件をJALとあまり変わらないところに上げてきた場合にJALに乗員を留める下支えこそがJALに対する信頼感であると思う。それこそが乗員流出というイベントリスクに対する必要な施策だと経営は考えてないのか？

【進本部長】一生懸命に協議して進めようとしているので、理解してほしい。

《組合》本部長自身も進んでいると感じているか？

【進本部長】結途中経過は開示できないが、進んでいるという感想だ。

【進本部長】例えば、上場前に外に出している数字を変えるのは、所謂ルール上まずいところがある。

《組合》上場後であればという話に繋がるが。

【進本部長】もしも上場が関係なければ、中期の変更でも何でもある程度柔軟性はある。

【進本部長】上場すれば１つの条件は・・・

皆様、高裁宛て署名活動及び
引き続き整理解雇撤回を支援する為の
カンパにご協力お願いします

詳細は、HPをご覧ください。

http://jalfltcrewob.web.fc2.com/